



本年は、江戸時代の浅間山噴火から240年を迎えました。この噴火は浅間山噴火史上最大の被害が発生し、多くの人命が失われた災害です。240年前、災害に直面した多くの人々が、後世に伝えようと残した多くの記録から、企画展が災害について考える機会となればと思います。

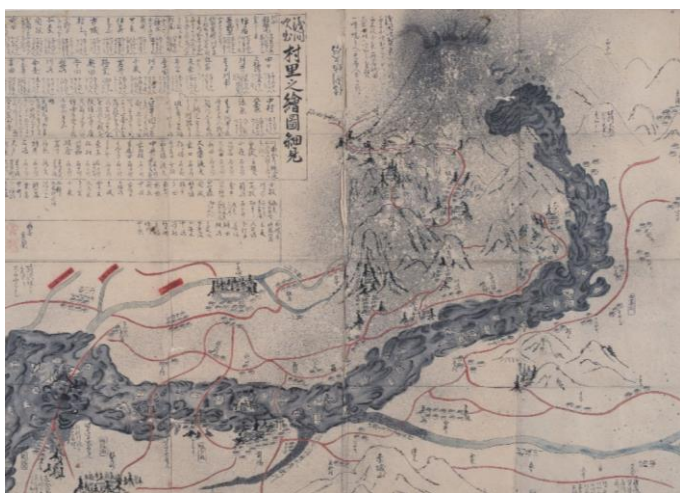
企画展 **6/16(金) ▶ 8/27(日)**

浅間山大噴火から240年・「天明三年」を語り継ぐ

# 伊勢崎藩を救え! 天明3年浅間山大噴火

群馬県と長野県境に位置する浅間山は、これまでに幾度となく大規模な噴火を繰り返し、最も大きな被害となったのが天明3年(1783)の大噴火です。この災害は「天明の浅間焼け」とも呼ばれ、噴火とともに大規模な土石なだれを引き起こして吾妻川から利根川沿岸の村々を泥流が埋め尽くし、1500人を超える人命が失われました。

本企画展では、天明3年の浅間山噴火から泥流被害、そして二次災害によって事態が深刻化する中、想像を超える災害に直面した伊勢崎藩がどのように対応したのか、絵図や古文書、発掘調査成果から危機を乗り越えることができた伊勢崎藩と人々のすがたに迫ります。そして、この大災害から240年を経て同じ場所で生きる現代の私たちが、災害の記憶を継承する機会にしたいと考えます。



浅間吹出村里之絵図細見

(飯島政樹氏蔵 群馬県立歴史博物館画像提供)

天明泥流とともに伊勢崎藩最大の危機が迫る



浅間焼吾妻川利根川泥押絵図

(群馬県立歴史博物館蔵 同館画像提供)



浅間山吹出之絵図  
(群馬県立歴史博物館蔵  
同館画像提供)

## 伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日は翌日）・年末年始・臨時休館日 開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分）

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

E-mail: siryokan@city.isesaki.lg.jp

入館無料